



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	14,318	△44.2	△184	—	△215	—	△223	—
30年3月期第2四半期	25,647	9.2	△272	—	△305	—	33	△68.6

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 △221百万円 (—%) 30年3月期第2四半期 △323百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△0.77	—
30年3月期第2四半期	0.11	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	7,401	6,357	85.7	21.90
30年3月期	7,320	6,305	89.7	22.67

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 6,342百万円 30年3月期 6,566百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,600	△52.8	50	—	△10	—	△110	—	△0.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	289,747,982 株	30年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	97,901 株	30年3月期	97,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	289,650,084 株	30年3月期2Q	289,651,374 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業業績に支えられ、景気は回復基調が続いているものの、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦、世界経済の不確実性や相次ぐ自然災害の影響等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、米中貿易摩擦懸念の他、地政学的リスクや米国利上げの動向等の影響により総じて軟調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続により住宅需要は底堅く、都心部のオフィス空室率は低水準で推移する等、堅調に推移いたしました。機械市況においては、米中貿易摩擦の影響から中国向け受注が鈍化傾向にあるものの、内外需ともに総じて受注は好調に推移したことから、中古工作機械業界においても概ね堅調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、全国の小売店やネット通販・自社運営ECサイトにて自社商品を販売、各種物販イベントへの出展、アニメ制作委員会や番組スポンサーへ積極的な参加等、市場のニーズに合った商品の企画・製作・販売を展開しており、この結果、売上高は堅調に推移したものの、制作委員会に係る償却額等を計上したことが影響し業績は低調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は14,318,533千円(前年同四半期25,647,212千円44.2%減)、営業損益は184,068千円の損失(前年同四半期272,073千円の損失)、経常損益は215,811千円の損失(前年同四半期305,425千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は223,736千円の損失(前年同四半期33,221千円の利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は13,233,198千円(前年同四半期24,434,503千円)、営業損益は1,490千円の利益(前年同四半期78,123千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は175,439千円(前年同四半期1,215,622千円)、営業損益は8,298千円の利益(前年同四半期608,946千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は634,610千円(前年同四半期580,170千円)、営業損益は27,214千円の利益(前年同四半期31,867千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は3,542千円の損失(前年同四半期741,781千円の損失)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は273,606千円(前年同四半期145,675千円)、営業損益は32,058千円の損失(前年同四半期9,246千円の利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より81,083千円増加し、7,401,931千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より55,211千円増加し、4,724,136千円となりました。

増加の主なものは、商品及び製品の増加(845,079千円から1,120,263千円へ275,184千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(1,589,909千円から1,416,042千円へ173,867千円の減少)及び預け金の減少(1,209,799千円から1,094,382千円へ115,417千円の減少)であります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末より25,872千円増加し、2,677,795千円となりました。

増加の主なものは、コンテンツ資産の増加(6,886千円から30,730千円へ23,843千円の増加)であります。

流動負債の残高は、前連結会計年度末より85,238千円増加し、745,351千円となりました。

増加の主なものは、買掛金の増加(19,825千円から49,489千円へ29,663千円の増加)及びデリバティブ債務(25,900千円から59,000千円へ33,100千円の増加)であります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末より56,055千円減少し、299,407千円となりました。

減少の主なものは、長期借入金の減少(115,620千円から61,580千円へ54,040千円の減少)であります。

純資産の残高は、前連結会計年度末より51,900千円増加し、6,357,173千円となりました。

増加の主なものは、非支配株主持分の増加(△260,752千円から14,741千円へ275,493千円の増加)であります。

減少の主なものは、利益剰余金の減少(348,471千円から124,734千円へ223,736千円の減少)であります。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より173,867千円減少し、1,416,042千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は262,380千円(前年同四半期は272,283千円の獲得)となりました。これは主に預け金の減少額115,417千円等の資金の獲得があったものの、税金等調整前四半期純損失215,811千円及びたな卸資産の増加額232,269千円等の資金の使用があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は99,543千円(前年同四半期は13,748千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出24,742千円及び無形固定資産の取得による支出57,460千円等の資金の使用があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は188,056千円(前年同四半期は58,222千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出69,840千円等の資金の使用があったものの、非支配者株主からの払込みによる収入257,900千円の資金の獲得があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月14日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成30年11月12日)公表いたしました「平成31年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,589,909	1,416,042
売掛金	84,189	115,707
商品及び製品	845,079	1,120,263
仕掛品	255,760	292,579
原材料及び貯蔵品	16,227	13,379
販売用不動産	605,118	528,231
デリバティブ債権	—	69,000
預け金	1,209,799	1,094,382
その他	75,841	87,549
貸倒引当金	△13,000	△13,000
流動資産合計	4,668,924	4,724,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,276,321	1,277,289
減価償却累計額	△657,822	△685,326
建物及び構築物(純額)	618,499	591,963
機械装置及び運搬具	527,761	528,661
減価償却累計額	△444,706	△451,649
機械装置及び運搬具(純額)	83,054	77,012
土地	1,691,391	1,691,391
建設仮勘定	—	18,700
その他	113,363	113,906
減価償却累計額	△103,462	△103,857
その他(純額)	9,900	10,048
有形固定資産合計	2,402,846	2,389,114
無形固定資産		
コンテンツ資産	6,886	30,730
その他	6,359	5,513
無形固定資産合計	13,246	36,243
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	10,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	115,450	114,840
その他	9,228	25,445
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	235,831	252,437
固定資産合計	2,651,923	2,677,795
資産合計	7,320,848	7,401,931

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,825	49,489
短期借入金	300,000	300,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	151,320	135,520
未払金	32,347	44,168
未払法人税等	41,892	23,241
デリバティブ債務	25,900	59,000
その他	38,827	83,932
流動負債合計	660,112	745,351
固定負債		
長期借入金	115,620	61,580
長期末払金	5,379	2,445
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	16,902	16,571
繰延税金負債	15,244	14,247
資産除去債務	198,363	200,610
固定負債合計	355,462	299,407
負債合計	1,015,575	1,044,758
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	348,471	124,734
自己株式	△31,227	△31,231
株主資本合計	6,566,170	6,342,429
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△146	1
その他の包括利益累計額合計	△146	1
非支配株主持分	△260,752	14,741
純資産合計	6,305,272	6,357,173
負債純資産合計	7,320,848	7,401,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	25,647,212	14,318,533
売上原価	25,262,450	13,830,673
売上総利益	384,761	487,860
販売費及び一般管理費	656,835	671,928
営業損失(△)	△272,073	△184,068
営業外収益		
受取利息	14	16
国庫補助金収入	9,999	9,721
保険金収入	737	23
その他	1,717	554
営業外収益合計	12,469	10,315
営業外費用		
支払利息	3,739	3,298
休山管理費	38,319	35,739
その他	3,762	3,020
営業外費用合計	45,822	42,058
経常損失(△)	△305,425	△215,811
特別利益		
固定資産売却益	415	—
特別利益合計	415	—
特別損失		
固定資産除却損	2,673	—
特別損失合計	2,673	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△307,684	△215,811
法人税、住民税及び事業税	18,048	7,215
法人税等調整額	△2,168	△997
法人税等合計	15,880	6,217
四半期純損失(△)	△323,565	△222,029
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△356,787	1,707
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	33,221	△223,736



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△323,565	△222,029
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	147
その他の包括利益合計	—	147
四半期包括利益	△323,565	△221,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,221	△223,589
非支配株主に係る四半期包括利益	△356,787	1,707

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△307,684	△215,811
減価償却費	53,819	69,305
受取利息及び受取配当金	△14	△16
支払利息	3,739	3,298
補助金収入	△9,999	△9,721
保険金収入	△737	△23
有形固定資産売却損益(△は益)	△415	—
有形固定資産除却損	2,673	—
売上債権の増減額(△は増加)	△48,364	△31,518
たな卸資産の増減額(△は増加)	456,733	△232,269
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,389	29,663
未払金の増減額(△は減少)	9,438	11,859
デリバティブ債権の増減額(△は増加)	—	△69,000
デリバティブ債務の増減額(△は減少)	274,787	33,100
預け金の増減額(△は増加)	△106,807	115,417
その他	△18,375	14,654
小計	282,404	△281,061
利息及び配当金の受取額	14	16
利息の支払額	△3,739	△3,061
補助金の受取額	9,999	9,721
保険金の受取額	737	30,023
法人税等の支払額	△17,132	△18,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	272,283	△262,380
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
出資金の払込による支出	—	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△4,265	△24,742
有形固定資産の売却による収入	415	—
無形固定資産の取得による支出	△16,881	△57,460
敷金及び保証金の差入による支出	△506	△218
敷金及び保証金の回収による収入	7,489	501
その他	—	△16,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,748	△99,543
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△58,200	△69,840
非支配株主からの払込みによる収入	—	257,900
自己株式の取得による支出	△22	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,222	188,056
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	200,313	△173,867
現金及び現金同等物の期首残高	1,362,928	1,589,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,563,241	1,416,042

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	24,434,503	1,207,607	580,170	△726,005	145,675	5,260	25,647,212
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	8,015	—	—	—	—	8,015
計	24,434,503	1,215,622	580,170	△726,005	145,675	5,260	25,655,227
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	78,123	608,946	△31,867	△741,781	9,246	2,405	△74,927

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	25,647,212
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	△8,015	—
計	△8,015	25,647,212
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△197,145	△272,073

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△197,145千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△197,145千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結会計期間から、従来の報告セグメントである「貴金属事業」と「宝飾事業」の区分を統合して、「貴金属事業」セグメントに区分しております。これは、営業強化を図るため事業部の再編を行い、貴金属部と宝飾部の統合をしたことによるものです。

また、「その他」に含まれていた「コンテンツ事業」について、事業規模が拡大し、経営における重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	13,233,198	167,451	634,610	3,939	273,606	5,727	14,318,533
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7,987	—	—	—	—	7,987
計	13,233,198	175,439	634,610	3,939	273,606	5,727	14,326,521
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,490	8,298	27,214	△3,542	△32,058	3,127	4,530

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	14,318,533
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	△7,987	—
計	△7,987	14,318,533
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△188,598	△184,068

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△188,598千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△188,598千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。